

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	重度化対応、ターミナルケアを行っていく中で、ご利用者の身体状況の重度化に伴い、ADL介護の占める割合が大きくなり、日常的な外出の機会が減少している。	日常的な外出支援を行う中で、馴染みの場所へ行く、馴染みの人に会うなどの機会を設け、ご利用者の暮らしの幅を広げる。	ご家族や地域の方との時間づくり(外出・訪問・イベント)を積極的に行うことにより、利用者の暮らしをともに考えて行ける関係づくりをすすめる。 ①たのやまだよりにてご利用者の暮らしを分かりやすく伝える。また、次月の行事計画にて、ご家族に参加を呼びかける。 ②スタッフ間の連携、業務の流れを見直し、前向きな外出支援について検討する。 ③地域のボランティア、サロン活動担当者などを話し合いの機会を持ち、外出やイベント、日常のかかわりなどにおけるボランティア導入を検討する。	3ヶ月
2	5	「ものわすれ相談」「認知症あんしんサポート相談窓口」「オレンジロードつなげ隊」などの取り組みを行っているが、それぞれが単独での活動になってしまいがちで、情報交換しながら、連携をとっていく体制について不十分さを感じる。	行政や関係機関と連携をとり、地域の課題について、ともに話し合い、課題解決に向けて協力し合える関係づくりをすすめる。	①日常のサービスや、認知症ケア教室、認知症相談窓口などの活動からの気づきや課題を、市担当者、地域包括支援センターなどに丁寧に伝え、課題解決に向けて話し合っていく機会をつくる。 ②「認知症あんしんサポート相談窓口」の活動をとおして、近隣のグループホームや小規模多機能とのつながりがあるため、今後、そういった話し合いの中で、互いに課題を確認しあい、活動を充実させていく。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。